

MY WAY English Communication II 観点別評価規準

(①や②はLessonのセクション番号を示す。●はその課全体の評価規準を示す。)

Lesson 1 Pictograms

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①身近にあるピクトグラムを知ろうとする。 ②国や地域によって違うピクトグラムを知ろうとする。 ③日本発祥のピクトグラムを知ろうとする。 ●ピクトグラムの意味やその背景にある歴史や文化を理解しようとする。
表現の能力	話すこと	①自分や他者のことについて、SVC/SVOの文型の英文で言うことができる。 ②自分や他者のことについて、SVO(0=if節)の文型の英文で言うことができる。 ③ある人やものの様子・状態について、SVC(C=分詞)の文型の英文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①自分や他者のことについて、SVC/SVOの文型を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ②自分や他者のことについて、SVO(0=if節)の文型を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ③ある人やものの様子・状態について、SVC(C=分詞)の文型を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ●ピクトグラムの特徴について、説明する文章を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①ふだん目にするピクトグラムに関する英文を聞き、どのようなものがあるのかを聞き取ることができる。 ②色々な国や地域のピクトグラムに関する英文を聞き、その具体例を聞き取ることができる。 ③日本発祥のピクトグラムに関する英文を聞き、いつからどのようなものが使用されるようになったかを聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の英文2つを聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①ふだん目にするピクトグラムに関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ②色々な国や地域のピクトグラムに関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ③日本発祥のピクトグラムに関する英文を読み、短い要約文にまとめることができる。 ●主語と述語動詞に注意を払いながら、英文を読み進め、その内容をとらえることができる。 ●モデルリーディングを真似しながら、大きな声で音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●ふだん目にするピクトグラムについて、自分の考えを述べることができる。 ●ある国や地域にのみ存在するピクトグラムについて、さらに深く調べようとする。 ●日本発祥のピクトグラムをほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Lesson 2 New Year's Celebrations

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①1月1日以外に正月を祝う国があることやモンゴルの正月の特徴について知ろうとする。 ②ミャンマーの正月の過ごし方とその理由について理解しようとする。 ③インドでの正月の過ごし方と日本の正月の類似点について自分の考えをまとめようとする。 ●世界の正月の時期と過ごし方について、日本との類似点、相違点は何かを考えようとする。
表現の能力	話すこと	①ある人やものの様子・状態について、SV0102 (O2=if節) の文型の英文で言うことができる。 ②ある人やものの様子・状態について、SV0102 (O2=that節) の文型の英文で言うことができる。 ③ある出来事について、it seems that~を用いて言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある人やものの様子・状態について、SV0102 (O2=if節) の文型を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②ある人やものの様子・状態について、SV0102 (O2=that節) の文型を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③ある出来事について、it seems that~を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●日本の正月について説明する文章を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①モンゴルの正月に関する英文を聞き、その特徴を聞き取ることができる。 ②ミャンマーの正月に関する英文を聞き、その特徴を聞き取ることができる。 ③インドの正月に関する英文を聞き、日本との類似点を聞き取ることができる。 ●世界の正月の時期と過ごし方について、日本語で説明することができる。
	読むこと	①モンゴルの正月に関する英文を読み、友人同士でその内容についての対話することができる。 ②ミャンマーの正月に関する英文を読み、短い要約文にまとめることができる。 ③インドの正月に関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ●あらかじめ引かれてある斜線(スラッシュ)ごとに意味を確かめながら、英文を読み進めることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●世界の正月について、自分の考えを述べることができる。 ●他にどのような正月の過ごし方があるのか、さらに深く調べようとする。 ●日本との類似点や相違点について、ほかにも調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

MY WAY English Communication II 観点別評価規準

(①や②はLessonのセクション番号を示す。●はその課全体の評価規準を示す。)

Let's Try 1

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> <li>●アイコンタクトをとり、相手に伝わる声で話そうとする。</li> <li>●感謝する表現、言い換える表現を使おうとする。</li> </ul>
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対話を暗記してスキットをすることができる。</li> <li>●教科書に掲載されているダイアログを参考にして作った対話を基に、スキットをすることができる。</li> </ul>
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科書に掲載されているダイアログを参考にして、相手に感謝したり、言い換える表現を使い対話を作ることができる。</li> <li>●与えられた表現を参考にして、病院に電話をかける際の対話を作ることができる。</li> </ul>
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電話案内を聞き、オペレーターが話す概要を聞いて表にまとめることができる。</li> <li>●正也とヤンの対話を聞いて、場面とその内容を日本語で説明することができる。</li> </ul>
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感謝する表現や言い換える表現を意識しながら、正也とヤンの対話を読み、その内容を理解することができる。</li> <li>●病状と医者についての情報を表から読み取ることができる。</li> </ul>

Lesson 3 Eco-friendly Inventions

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①エコ冷蔵庫がどのようなものであるのかを知ろうとする。 ②人々の生活を助けた発明品がどのようなものであるのかを知ろうとする。 ③新しいものと古いものの組み合わせがどのように効果をもたらすのかを理解しようとする。 ●環境にやさしい発明品について考え、人々の暮らしを快適にするために自分にできることは何かを考える。
表現の能力	話すこと	①ある行為の難易度や興味深さ、重要性などについて、〈It is ... to不定詞〉の構文で言うことができる。 ②自分や他者がわかったこと、思ったことについて、形式目的語〈to不定詞〉の構文を使って言うことができる。 ③自分や他者がわかったこと、思ったことについて、形式目的語〈that節〉の構文を使って言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある行為の難易度や興味深さ、重要性などについて、〈It is ... to不定詞〉の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②自分や他者がわかったこと、思ったことについて、形式目的語〈to不定詞〉の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③自分や他者がわかったこと、思ったことについて、形式目的語〈that節〉の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●環境にやさしいものについて説明する文章を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①エコ冷蔵庫に関する英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ②人々の生活に役立つ発明品に関する英文を聞き、どのような点で役に立つのかを聞き取ることができる。 ③新しいものと古いものの組み合わせに関する英文を聞き、どのような例があるのか聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の英文を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①エコ冷蔵庫に関する英文を読み、その構造を理解することができる。 ②人々の生活に役立つ発明品に関する英文を読み、友人同士でその内容についての対話することができる。 ③新しいものと古いものの組み合わせに関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ●文章の主題やそれに関わるキーワードを探しながら、英文を読み進め、その内容をとらえることができる。 ●モデルリーディングを真似しながら、大きな声で音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●環境に優しい発明品について、自分の考えを述べることができる。 ●人々の生活に役立つ発明品について、さらに深く調べようとする。 ●打ち水以外に新しい技術と古い知恵が融合したものについて、調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Lesson 4 Brazil- Far away or Close?

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①ブラジルがどのような国か推測しようとする。 ②ブラジルにはどのような歴史があるのかを考えようとする。 ③日系ブラジル人はどのような人たちなのかを理解しようとする。 ④ブラジルの人たちの生き方はどのようなものか理解しようとする。 ●ブラジルが日本と遠く近い関係にあるとはどのようなことか、また、その歴史と現状はどのようなものか、ブラジルについて深く知ろうとする。
表現の能力	話すこと	①ある人やものの動きを見聞きしたことがらについて、〈S+V+O+C [動詞の原形]〉の構文を含む英文で言うことができる。 ②ある人やものがされたことがらについて、〈S+V+O+C [過去分詞]〉の構文を含む英文で言うことができる。 ③ある人やものを、ある様子・状態にすることについて、〈S+V+O+C [過去分詞]〉の構文を含む英文で言うことができる。 ④ある人やものが、あることをするのを助けることについて、〈help+O+動詞の原形〉の構文を含む英文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある人やものの動きを見聞きしたことがらについて、〈S+V+O+C [動詞の原形]〉の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②ある人やものがされたことがらについて、〈S+V+O+C [過去分詞]〉の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③ある人やものを、ある様子・状態にすることについて、〈S+V+O+C [過去分詞]〉の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ④ある人やものが、あることをするのを助けることについて、help+O+動詞の原形の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●ブラジルに行くとしたら何を見たいか、選んだ理由を簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①ブラジルと日本が遠くて近い関係にあるという英文を聞き、その理由を聞き取ることができる。 ②ブラジルの歴史に問する英文を聞き、民族と文化的多様性の理由を聞き取ることができる。 ③日系ブラジル人に関する英文を聞き、その歴史と現状について聞き取ることができる。 ④ブラジルの人たちの生き方に関する英文を聞き、その特徴を聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の英文を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①ブラジルと日本が遠くて近い関係にあるという英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ②ブラジルの歴史に問する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ③日系ブラジル人に関する英文を読み、友人同士でその内容についての対話をするすることができる。 ④ブラジルの人たちの生き方に関する英文を読み、その要約文を書かれてある順番に並べかえることができる。 ●主題文と支持文に注意を払いながら英文を読み進め、筆者の主張とその根拠をとらえることができる。 ●モデルリーディングを真似しながら、大きな声で音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●ブラジルと日本が遠くて近い関係にある理由について、そのほかに調べようとする。 ●ブラジルの歴史について、さらに深く調べようとする。 ●日系ブラジル人について、その歴史をさらに調べようとする。 ●ブラジルの人たちの生き方について、自分の考えを述べることができる。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

MY WAY English Communication II 観点別評価規準

(①や②はLessonのセクション番号を示す。●はその課全体の評価規準を示す。)

Let's Try 2

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> <li>●アイコンタクトをとり、相手に伝わる声で話そうとする。</li> <li>●相手に対して報告したり、説明したりする表現を使おうとする。</li> </ul>
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対話を暗記してスキットをすることができる。</li> <li>●教科書に掲載されているダイアログを参考にして作った対話を基に、スキットをすることができる。</li> </ul>
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科書に掲載されているダイアログを参考にして、相手に何かを報告したり、説明したりする対話を作ることができる。</li> <li>●与えられた表現を参考にして、ボランティア活動の時間に関して報告、説明する文章を作ることができる。</li> </ul>
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高校生の睡眠に関する報告を聞き、その内容に合うものを表にまとめることができる。</li> <li>●明子とテリーの対話を聞いて、場面とその内容を日本語で説明することができる。</li> </ul>
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●報告したり、説明したりする表現を意識しながら、明子とテリーの対話を読み、その内容を理解することができる。</li> <li>●各国のボランティア活動の時間に関する特徴を表から読み取ることができる。</li> </ul>

MY WAY English Communication II 観点別評価規準

(①や②はLessonのセクション番号を示す。●はその課全体の評価規準を示す。)

Reading The Cat

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> <li>●まとまった文章を、物語の展開を理解しながら読もうとする。</li> <li>●ネコと宇宙人の会話から、話の展開について推測しようとする。</li> <li>●既習の文型・文法事項を活用して、物語の内容をとらえようとする。</li> <li>●読み取った内容を、スキットなどで実際に表現しようとする。</li> </ul>
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登場人物がだれであるか、説明することができる。</li> <li>●物語の一部分についての質問に対して、英語で答えることができる。</li> <li>●物語をいくつかの部分に分け、スキットで演じることができる。</li> <li>●物語の感想を英語で簡単に言うことができる。</li> </ul>
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物語の一部分について、文章をト書き風書き直すことができる。</li> <li>●宇宙人の姿を想像してイラストを描き、説明することができる。</li> <li>●エス氏が気を失っていなかったらどうなっていたかを想像し、自分なりに展開させて、まとまった内容の文章を書くことができる。</li> <li>●物語の感想や印象に残った文について、まとまった内容の文章を書くことができる。</li> </ul>
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物語の一部分を聞き、話の展開の概要を日本語で説明することができる。</li> </ul>
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●代名詞などに注意を払いながら物語を読み進め、その内容をとらえることができる。</li> <li>●できごとを示した英文を読んで、それらを起こった順番に並べかえることができる。</li> <li>●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。</li> <li>●登場人物になったつもりで、感情をこめて音読することができる。</li> </ul>
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> <li>●感嘆をあらわす表現をほかにも調べようとする。</li> <li>●既習の文型・文法を使った文章を読みこなすことができる。</li> </ul>

Lesson 5 Eye Contact

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①デフリンピックとは何かを推測しようとする。 ②日本のチームにはどのような選手がいたのかを知ろうとする。 ③デフリンピックでの試合はどのようなものだったのかを理解しようとする。 ④なぜアイコンタクトが必要なのか、自分のことばでまとめようとする。 ●デフリンピックやろう者サッカーの選手たちを通して、アイコンタクトの大切さを理解しようとする。
表現の能力	話すこと	①ある人やものについての説明を、関係代名詞(主格)で言うことができる。 ②あるものに説明を加えるとき、前置詞+関係代名詞を含む英文で言うことができる。 ③あるものに補足的に説明を加えるとき、関係代名詞の非制限用法を含む英文で言うことができる。 ④ある場所について補足的に説明を加えるとき、関係副詞の非制限用法を含む英文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある人やものについての説明を、関係代名詞(主格)を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②あるものに説明を加えるとき、前置詞+関係代名詞を含む英文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③あるものに補足的に説明を加えるとき、関係代名詞の非制限用法を含む英文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ④ある場所について補足的に説明を加えるとき、関係副詞の非制限用法の英文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●よく使われるジェスチャーについて、どのような状況でどのように使うかを説明する文章を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①デフリンピックやろう者サッカーに関する英文を聞き、どのようなものかを聞き取ることができる。 ②やろう者サッカーの日本の女子チームに関する英文を聞き、どのような選手がいるのかを聞き取ることができる。 ③デフリンピックの試合に関する英文を聞き、日本チームの結果と選手の感想について聞き取ることができる。 ④選手がアイコンタクトについて述べている英文を聞き、なぜアイコンタクトが重要なのかを聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①デフリンピックやろう者サッカーに関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②やろう者サッカーの日本の女子チームに関する英文を読み、どのような選手がいるのかを、その内容を平易な表にまとめることができる。 ③デフリンピックの試合に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ④選手がアイコンタクトについて述べている英文を読み、友人同士でその内容についての対話をするすることができる。 ●各段落の最初の文を読み、おおまかな内容をつかむことができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●やろう者サッカーと通常のサッカーのルールの違いについて、さらに調べようとする。 ●アイコンタクトの重要性について、自分の考えを述べることができる。 ●アイコンタクト以外に重要なコミュニケーション方法は何か、調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。



MY WAY English Communication II 観点別評価規準

(①や②はLessonのセクション番号を示す。●はその課全体の評価規準を示す。)

Lesson 6 Space Elevator

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①ロケットのもつ問題点と宇宙エレベーターの概要を知ろうとする。 ②宇宙エレベーターの仕組みを理解しようとする。 ③宇宙エレベーターを支える科学技術を知ろうとする。 ④宇宙エレベーターを建設する際の課題と利点を知ろうとする。 ●図などを参考にして、宇宙エレベーターのもつ複雑な仕組みを理解しようとする。
表現の能力	話すこと	①現在まで継続している状態などについて、現在完了形で言うことができる。 ②現在まで継続している動作などについて、現在完了進行形で言うことができる。 ③過去のある時点まで継続していた動作などについて、過去完了進行形で言うことができる。 ④未来のある時点で進行していると予想される動作などについて、未来進行形で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①現在完了形を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②現在完了進行形を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③過去完了進行形を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ④未来進行形を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●宇宙で行ってみたい天体について、その理由を簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①ロケットのもつ問題点と宇宙エレベーターの概要を聞き取ることができる。 ②宇宙エレベーターの仕組みを聞き取ることができる。 ③宇宙エレベーターを支える科学技術を聞き取ることができる。 ④宇宙エレベーターを建設する際の課題と利点を聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①ロケットのもつ問題点と宇宙エレベーターの概要に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②宇宙エレベーターの仕組みに関する英文を読み、その内容について友人同士で対話することができる。 ③宇宙エレベーターを支える科学技術に関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ④宇宙エレベーターを建設する際の課題と利点に関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ●提示された話題を受けて話がすすんでいくことを確認しながら、英文を読み進めることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●宇宙エレベーターの建設について、自分の考えを述べることができる。 ●宇宙エレベーターの仕組みについて、さらに深く調べようとする。 ●宇宙旅行を可能にする方法について、ほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

MY WAY English Communication I 観点別評価規準

(①や②はLessonのセクション番号を示す。●はその課全体の評価規準を示す。)

Let's Try 3

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> <li>●アイコンタクトをとり、相手に伝わる声で話そうとする。</li> <li>●相手の注意を引いたり、相手の意見に反対する表現を使おうとする。</li> </ul>
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対話を暗記してスキットをすることができる。</li> <li>●教科書に掲載されているダイアログを参考にして作った対話を基に、スキットをすることができる。</li> </ul>
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科書に掲載されているダイアログを参考にして、相手の注意を引いたり、相手の意見に反対する表現を使った対話を作ることができる。</li> <li>●与えられた表現を参考にして、相手の意見に反対し、旅先でどのようなレストランに入りたいか自分の意見を述べる文章を作ることができる。</li> </ul>
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高校生の朝食についての国際調査の報告を聞き、その内容を表にまとめることができる。</li> <li>●弘也、真理子、ピエールの討論を聞いて、場面とその内容を日本語で説明することができる。</li> </ul>
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●注意を引く表現や反対する表現を意識しながら、弘也、真理子、ピエールの討論を読むことができる。</li> <li>●旅先でのレストランの特徴についての情報を、表から読み取ることができる。</li> </ul>

MY WAY English Communication II 観点別評価規準

(①や②はLessonのセクション番号を示す。●はその課全体の評価規準を示す。)

Lesson 7 An Encouraging Song

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①『負けないで』がさまざまな場面で人々を元気づけてきたことを知ろうとする。 ②坂井泉水さんが歌詞にこだわった理由を推測しようとする。 ③『負けないで』に込められた思いが何に表れているか理解しようとする。 ④『負けないで』がもつ力について、事例を踏まえて自分のことばでまとめようとする。 ●『負けないで』の歌詞に触れ、目的に応じたことばを選択する態度を身につけようとする。
表現の能力	話すこと	①推量を含む現在のことがらについて助動詞mayを含む英文で言うことができる。 ②推量を含む過去のことがらについて<may+have+過去分詞>を含む英文で言うことができる。 ③<would like to+動詞の原形>を用いて、丁寧さなどを示す表現を英文で言うことができる。 ④推定を含む過去のことがらについて<seem to have+過去分詞>を含む英文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①助動詞mayを使ってを使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②<may like to+動詞の原形>を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③<would like to+動詞の原形>を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ④分詞構文を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●自分にとって元気の出る曲について簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①『負けないで』がさまざまな場面で人々を元気づけてきたことを聞き取ることができる。 ②坂井泉水さんが歌詞にこだわった理由を聞き取ることができる。 ③『負けないで』に込められた思いが何に表れているかを聞き取ることができる。 ④『負けないで』がもつ力についての事例を聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①『負けないで』がさまざまな場面で人々を元気づけてきたことに関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ②坂井泉水さんが歌詞にこだわった理由に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ③『負けないで』に込められた思いが何に表れているかに関する英文を読み、その内容について友人同士で対話することができる。 ④『負けないで』がもつ力についての事例に関する英文を読み、その内容を表す図を順番に並べかえることができる。 ●固有名詞に注意しながら、英文を読み進めることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●『負けないで』の歌詞について、自分の考えを述べることができる。 ●人々を励ますことば遣いについて、さらに深く調べようとする。 ●さまざまな時代で人々の心をとらえた歌について、ほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Lesson 8 Language Contacts

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①小笠原諸島が東洋のガラパゴスと呼ばれるようになった地歴的要因を知ろうとする。 ②小笠原諸島で使われている言語の特徴を知り、それについての人々の思いを理解しようとする。 ③言語接触のさらなる例を通じて、その普遍性や役割、移り変わりを理解しようとする。 ④日本語や英語にも言語接触があることを知り、理想的な言語接触の姿について自分のことばでまとめようとする。 ●さまざまな言語接触の例を通じて、言語の特徴やそのとらえ方についての知識や態度を身につけようとする。
表現の能力	話すこと	①現在の事実と反することがらなどを仮定法過去で言うことができる。 ②過去の事実と反することがらを仮定法過去完了で言うことができる。 ③仮定法の条件節に相当する内容を、ifを使わないで言うことができる。 ④譲歩を含む内容を<no matter+疑問詞>を使って言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答したり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①仮定法過去を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②仮定法過去完了を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③仮定法の条件節に相当する内容をifを使わないで説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ④<no matter+疑問詞>を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●ある外来語の起源について簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①小笠原諸島が東洋のガラパゴスと呼ばれるようになった地歴的要因を聞き取ることができる。 ②小笠原諸島で使われている言語の特徴を知り、それについての人々の思いを聞き取ることができる。 ③言語接触のさらなる例を聞き取ることができる。 ④日本語や英語にも言語接触があることを知り、理想的な言語接触の姿について聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①小笠原諸島が東洋のガラパゴスと呼ばれるようになった地歴的要因に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②小笠原諸島で使われている言語の特徴とそれについての人々の思いに関する英文を読み、その内容について友人同士で対話することができる。 ③言語接触のさらなる例に関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ④日本語や英語における言語接触の例と理想的な言語接触の姿に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ●代名詞や指示語が指し示す語句に注意を払いながら、英文を読み進めることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●言語の価値について、自分の考えを述べることができる。 ●言語接触により生まれた言語について、さらに深く調べようとする。 ●人々の移動がもたらす社会の変化について、ほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

MY WAY English Communication I 観点別評価規準

(①や②はLessonのセクション番号を示す。●はその課全体の評価規準を示す。)

Let's Try 4

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> <li>●アイコンタクトをとり、相手に伝わる声で話そうとする。</li> <li>●相手に依頼したり、要約する表現を使おうとする。</li> </ul>
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対話を暗記してスキットをすることができる。</li> <li>●教科書に掲載されているダイアログを参考にして作った対話を基に、スキットをすることができる。</li> </ul>
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科書に掲載されているダイアログを参考にして、相手に依頼したり、要約する対話を作ることができる。</li> <li>●与えられた表現を参考にして、自分の行きたい都市とその都市の特徴についてまとめた文章を書くことができる。</li> </ul>
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラジオの国際ニュースを聞き、その内容を表にまとめることができる。</li> <li>●健とメイリンの対話を聞いて、場面とその内容を日本語で説明することができる。</li> </ul>
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●相手に依頼したり、要約する表現を意識しながら、健とメイリンの対話を読むことができる。</li> <li>●都市とその特徴についての情報を表から読み取ることができる。</li> </ul>

Lesson 9 Charles Chaplin

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①喜劇王と呼ばれたチャップリンの生い立ちについて知ろうとする。 ②青年時代のチャップリンが自分の人生をどうとらえていたかを理解しようとする。 ③「小さな放浪者」が生まれた経緯を理解しようとする。 ④チャップリンが映画で演じた役を通じて訴えたかったことについて自分のことばでまとめようとする。 ●チャップリンの生涯に触れ、社会的弱者の視点からもものごとを考える態度を身につけようとする。
表現の能力	話すこと	①2つのことが同時に起こっている状態について、分詞構文で言うことができる。 ②受け身の内容をもつことがらを過去分詞で始まる分詞構文で言うことができる。 ③主節の述語動詞よりも以前のことがらを<having+過去分詞>の分詞構文で言うことができる。 ④2つのことが同時に起こっている状態について、withを含む英文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答したり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①分詞構文を使って付帯状況を説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②分詞構文を使って受け身の内容を説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③分詞構文を使って主節の述語動詞よりも以前のことがらを説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ④付帯状況のWITHを使って説明し、まとめた内容の又草を書くことができる。 ●好きな俳優について簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①喜劇王と呼ばれたチャップリンの生い立ちを聞き取ることができる。 ②青年時代のチャップリンが自分の人生をどうとらえていたかを聞き取ることができる。 ③「小さな放浪者」が生まれた経緯を聞き取ることができる。 ④チャップリンが映画の中で演じた役を聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①喜劇王と呼ばれたチャップリンの生い立ちに関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②青年時代のチャップリンが自分の人生をどうとらえていたかに関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ③「小さな放浪者」が生まれた経緯に関する英文を読み、その内容について友人同士で対話することができる。 ④チャップリンが映画の中で演じた役に関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ●時を示す語句に注意を払いながら、英文を読み進めることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●付帯状況の表現方法について、さらに深く調べようとする。 ●チャップリンの人生観について、自分の考えを述べることができる。 ●チャップリンの作品について、ほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Lesson 10 The Five-story Pagoda of Horyuji

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①法隆寺の五重塔が地震などに強い理由を推測しようとする。 ②地震の際、五重塔がどのように揺れるのかを理解しようとする。 ③現代にも通用する、五重塔の構造を理解しようとする。 ④建築物の東洋的な設計思想を知り、その技術を継承する必要性を理解しようとする。 ●五重塔の構造上の特徴に触れ、自然との向き合い方のいくつかを身につけようとする。
表現の能力	話すこと	①ある名詞と同格の内容をもつ節をthatを含む英文で言うことができる。 ②ある語句を強調するために、倒置を含む英文を言うことができる。 ③同じことばのくり返しをさけるために、省略を含む英文を言うことができる。 ④ある語句を強調するために、強調構文を含む英文を言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答したり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①同格を表すthatを使って説明し、まとまった内容の文章を書くことができる。 ②倒置を使って説明し、まとまった内容の文章を書くことができる。 ③省略を使って説明し、まとまった内容の文章を書くことができる。 ④強調構文を使って説明し、まとまった内容の文章を書くことができる。 ●海外の人に紹介したい日本の建物について簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①法隆寺の五重塔が地震などに強い理由を聞き取ることができる。 ②地震の際、五重塔がどのように揺れるのかを聞き取ることができる。 ③五重塔の構造を聞き取ることができる。 ④建築物の東洋的な設計思想とその技術を継承する必要性を聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①法隆寺の五重塔が地震などに強い理由に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②地震の際、五重塔がどのように揺れるのかに関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ③五重塔の構造に関する英文を読み、その内容を特徴ごとに短い要約文にまとめることができる。 ④建築物の東洋的な設計思想とその技術を継承する必要性に関する英文を読み、東洋的発想と西洋的思想についての文を分類することができる。 ●文脈などを活用して未知語の意味を推測しながら、英文を読み進めることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●自然との向き合い方について、自分の考えを述べることができる。 ●宮大工について、さらに深く調べようとする。 ●現在でも使われている伝統的な技術について、ほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

MY WAY English Communication II 観点別評価規準

(①や②はLessonのセクション番号を示す。●はその課全体の評価規準を示す。)

Reading A Letter to Italy

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> <li>●まとまった文章を、物語の展開を理解しながら読もうとする。</li> <li>●登場人物の心情や人間関係を理解しながら読もうとする。</li> <li>●「コミュニケーション英語II」を通して学んだ文型・文法事項を活用して、物語の内容をとらえようとする。</li> <li>●読み取った内容を、スキットなどで実際に表現しようとする。</li> </ul>
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登場人物がだれであるか、説明することができる。</li> <li>●物語の一部分についての質問に対して、英語で答えることができる。</li> <li>●物語をいくつかの部分に分け、スキットで演じることができる。</li> <li>●物語の感想を英語で簡単に言うことができる。</li> </ul>
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物語の一部分について、文章をト書き風書き直すことができる。</li> <li>●Rosettaに手紙を書いた日のAngeloの気持ちを日記風を書くことができる。</li> <li>●物語の感想や印象に残った文について、まとまった内容の文章を書くことができる。</li> <li>●物語の最後の部分を自分なりに展開させて、まとまった内容の文章を書くことができる。</li> </ul>
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物語の一部分を聞き、話の展開の概要を日本語で説明することができる。</li> </ul>
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●代名詞などに注意を払いながら物語を読み進め、その内容をとらえることができる。</li> <li>●物語を読んで、その内容を短い要約文にまとめることができる。</li> <li>●物語を読んで、その内容の真偽を区別したり、友人同士で対話することができる。</li> <li>●登場人物になったつもりで、感情をこめて音読することができる。</li> </ul>
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> <li>●1950年代のオーストラリアの社会状況について、さらに深く調べようとする。</li> <li>●結婚相手を決める行為について、ほかに調べようとする。</li> <li>●既習の文型・文法を使った文章を読みこなすことができる。</li> </ul>